

石川県スポーツトレーナー連絡協議会

令和4年度第6回理事会 議事録

日 時：令和4年10月18日（火） 20時～20時32分

会 場：オンライン会議

出席者：北岡克彦、西尾眞友、橋場貴史、常盤和成、田中良和、宮川巖幸、守山成則、定池 寿、
西川典孝、俵 大輔、吉本真樹、村松僚太、石川真依子、

－13名－（会長、副会長、監事、理事10名）

【議 題】

報告事項 1；令和4年度第5回理事会議事録

田中理事（総務部長）より、令和4年度5回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

報告事項 2；会計報告

宮川理事（会計）より報告。令和4年9-10月期の収支は特になし。西川理事より120円の経費報告分、金沢マラソン救護所活動昼食分（守山理事；トレーナー部長が立て替え）については次期の会計報告に計上。

協議事項 1；金沢マラソン2022について

・事前研修会報告

田中理事より報告。9月29日の本会事前研修会は14名が参加（1名欠席）。認定継続単位は4名必要。うち2名は守山理事が当日預かり会計へ。他2名は振込み確認済み。各救護所活動の状況が確認できて有意義な研修会だった。

守山理事（トレーナー部長）より感想。久しぶりに皆で顔を合わせての研修が良かった。少しずつ機会を増やしていければ良い。また、当たり前に行っているトレーナー活動を再度確認することも大切。

・金沢市の事前研修会

守山理事より報告。昼食費や物資の受け渡しに協力いただいた参加者に感謝。資機材の受け渡し終了、経費等に関しては守山理事が管理し会計とやり取りもスムーズに出来た。

・その他

守山理事より二点お願い。一点目は、準備等は整ったので当日体調万全に臨んで欲しい。二点目は、公式ではないが、医師より活動参加者の3回目コロナワクチン接種は済んでいるかとの確認があった。特に報告する必要はないが、本会参加者は医療に関わりがあるので接種していると理解。特に確認することはせず参加者各自の責任において行動するとのこととなった。

協議事項 2 ; 救急法講習について

田中理事より説明。日赤側から日程としては3月なら19日(日)・26日(日)。会場については、前回、話があった日赤の研修室は現在、貸し出ししていないとのこと。木島病院に会場お願いしたい。時間は午後がよいか、午前がよいか(4時間)。

北岡会長より、病院の会場予定については確認。また人数によっても使用する部屋が違ってくるので、そこも確認が必要。

この講習を4月2日の総会時講習会とすることも可能ではないか。午前中に講義で午後実技という方法もありか。

田中理事が日赤に4月2日の予定を聞き、可能であれば総会時に救急法講習を行うことで話を進める。後日、結果を連絡し早めに会場の確認と確保を行う。

協議事項 3 ; 令和4年度総会時 講演会講師について

定池理事より、前項の話でいくと、救急法講習を行うのであれば講師を決める必要もないのではないかと。また、前回、話をしたセクハラ等に関する講習については、日本鍼灸師会青年委員会が企画し広島大学の北中先生という方が講師で講演。

常盤理事長より、総会・講演会を行った後に、任意で参加する救急法講習を実施するという認識。

北岡会長より説明。前回、候補に出したトレイルランの選手は金沢学院大学の枝元香菜子氏。大学の教員でもあり話もでき話題もタイムリーでもある。この会でできなければスポーツドクター・スポーツナース協議会などで、一度は話を聴講したい。

両案について協議。枝元氏は地元であること、これまでの講演会とは趣は違うが本会にとってもふさわしい講師であり、面白く興味深いという意見が多数。

守山理事より、少し話が戻り、総会時講演会で救急法を兼ねるのであれば参加者は増加し、講演会、救急法講習を二つ実施するのであれば、どちらも参加者が減少することが懸念されるとの意見があった。

講演会の講師は枝元氏ですすめ、日赤にも予定を聞き、次回理事会にて協議することとなった。田中理事が連絡を担当。

協議事項 4 ; その他について

特になし。

協議事項は全て終了。第7回理事会を令和4年11月15日(火)と決定。令和4年度第6回理事会は終了。

(議事録作成：田中良和〈総務部〉)